

ステップアップ研修Ⅰ（２年次研修）・Ⅱ（３年次研修）実施要項

大分県教育委員会

1 目的

【ステップアップ研修Ⅰ】

幅広い知見を習得させるとともに、初任者研修で培った教育活動の基盤となる能力や実践的指導力の向上を図り、喫緊の教育課題への対応能力を養う。

【ステップアップ研修Ⅱ】

幅広い知見を習得させるとともに、教育活動の基盤となる能力や実践的指導力のさらなる向上を図り、喫緊の教育課題への対応能力を高める。

2 対象（※義務教育学校の前期課程は小学校、後期課程は中学校とそれぞれ読み替える。） 県教育委員会及び市町村教育委員会が受講対象者を決定する。

【ステップアップ研修Ⅰ】（初任者研修を修了した者）

在職２年目の公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭

【ステップアップ研修Ⅱ】（ステップアップ研修Ⅰを修了した者）

在職３年目の公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭

3 校外研修

(1) 内容（資料３～４ページ参照）

ステップアップ研修Ⅰでは、教科の指導力及び家庭や地域等と連携する力の向上を図る内容を重点的に取り入れる。ステップアップ研修Ⅱでは、教科の指導力の向上及び児童生徒理解の深化を図る内容を重点的に取り入れる。

(2) 研修日数

ステップアップ研修Ⅰ及びⅡともに、年間２日の県教育センターにおける研修を受けるものとする。

なお、小学校については受講日を２日に分けて設定し、以下のとおりに決定する。

【ステップアップ研修Ⅰ】

「国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語」の１０教科から、受講希望教科を３つ選択し、県教育センターが調整後、受講教科及び受講日が決定する。※実際に担当する教科(実践可能な教科)を選択すること。

【ステップアップ研修Ⅱ】

「国語、社会、算数、理科、体育、外国語」の６教科から、受講希望教科を２つ選択し、県教育センターが調整後、受講教科及び受講日が決定する。

※ステップアップ研修Ⅰで受講した教科とは、できるだけ違う教科を受講すること。

また、特別支援学校の対象者については、ステップアップ研修Ⅱにおいて、設定した２日間から受講日を選択して受講するものとする。

4 校内研修

(1) 実施期間

当該年度の２月末まで実施する。

(2) 実施単位時間

ステップアップ 研修Ⅰ	年間 12 単位 時間以上	※１回の研修時間は、２単位時間以内とすること ※研究授業を、年間２回以上実施すること (注) 小学校の対象者については、２回のうち１回は、必ず校外研修で受講する教科の研究授業を位置づけること
ステップアップ 研修Ⅱ	年間 8 単位 時間以上	

(3) 実施上の留意点

- ① 校長は、校内研修が適切に行われるよう計画し、副校長、教頭、主幹教諭等の校内の人材を有効に活用しながら、年間を通して系統的、組織的な研修を推進すること。
- ② 効果的な OJT が推進されるよう、校外研修の内容(小学校においては校外研修で受講する教科)との関連を図ること。
- ③ 研修期間中、やむを得ない事由により受講が困難となった場合、校長は県教育センターにその旨を連絡すること。県教育センターは、連絡を受けた後、その後の対応を協議する。

5 年間計画書の作成について

- (1) 校長は、受講対象者の能力や適性等をもとに、ステップアップ研修Ⅰ及びⅡにおいて、校外研修の研修内容を生かして「校内研修」年間計画書（【様式1】資料5ページ参照）を作成する。
- (2) 校長は、作成した年間計画書を、市町村立学校においては市町村教育委員会教育長に、県立学校においては県教育センター所長に提出する。
- (3) 市町村教育委員会教育長は、所管する学校から提出された年間計画書を取りまとめて、県教育センター所長に提出する。
- (4) 作成上の留意点
 - ① 受講対象者の課題を明確にし、必要な研修を盛り込むため、ステップアップ研修Ⅰの最初にガイダンスの時間を位置付けること。
 - ② 研修の効果を高めるために系統性、連続性、PDCA サイクル等に配慮すること。
※小学校の対象者は、実際に担当する教科(実践可能な教科)を選択し、その教科を「★研究授業」に位置づけることで効果的な OJT の推進に繋げる。
 - ③ 研修実施日は、年間を通してバランスよく設定すること。
 - ④ ステップアップ研修Ⅱの終了に当たっては、成果と課題を整理するための振り返りを位置付けること。

6 「校内研修」実施報告書の作成について

- (1) 校長は、ステップアップ研修Ⅰ及びⅡの終了後、速やかに「校内研修」実施報告書（【様式2】資料6ページ参照）を作成する。
- (2) 校長は、作成した実施報告書を、市町村立学校においては市町村教育委員会教育長に、県立学校においては県教育センター所長に提出する。
- (3) 市町村教育委員会教育長は、所管する学校から提出された実施報告書を取りまとめて、県教育センター所長に提出する。

令和6年度ステップアップ研修 I

【小学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回				
研修名	教科指導1・生徒指導・学校と家庭の連携 (社会・算数・生活・図画工作・体育選択者)	教科指導1・生徒指導・学校と家庭の連携 (国語・理科・音楽・家庭・外国語選択者)	研修名	教科指導2 (社会・算数・生活・図画工作・体育選択者)	教科指導2 (国語・理科・音楽・家庭・外国語選択者)		
期日	5月14日	5月21日	期日	10月28日	10月29日		
内容	付きたい力を明確にした教科指導 一言語活動の充実－(教科別分科会)		内容	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別分科会)	美術館を活用した図画工作科指導	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別分科会)	美術館を活用した図画工作科指導
	いじめ・不登校への3段階での教育相談の展開 －未然防止、早期発見、解決支援－			美術館を活用した図画工作科指導	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別分科会)	美術館を活用した図画工作科指導	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別分科会)
	信頼関係を築くコミュニケーション						

【中学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回		
研修名	教科指導1・生徒指導・学校と家庭の連携 (高・音)(高・美)(高・家)	教科指導1・生徒指導・学校と家庭の連携 (高・音)(高・美)(高・家)	研修名	教科指導2・教員としての自覚と役割 (高・音)(高・美)(高・家)	
期日	5月24日		期日	11月29日	
内容	付きたい力を明確にした教科指導 一言語活動の充実－(教科別分科会)		内容	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別分科会) * 中堅(中)と合同	
	いじめ・不登校への3段階での教育相談の展開 －未然防止、早期発見、解決支援－			組織の一員としての自覚と役割 (教科混合) * 中堅(中)と合同	
	信頼関係を築くコミュニケーション				

【高等学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回		
研修名	教科指導1・生徒指導・学校と家庭の連携 (音・美・家は中学校に参加)	教科指導1・生徒指導・学校と家庭の連携 (音・美・家は中学校に参加)	研修名	教科指導2・教員としての自覚と役割 (音・美・家は中学校に参加)	
期日	5月28日		期日	11月19日	
内容	付きたい力を明確にした教科指導 一言語活動の充実－(教科別分科会)		内容	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別分科会) * 中堅(高)と合同	
	いじめ・不登校への3段階での教育相談の展開 －未然防止、早期発見、解決支援－			組織の一員としての自覚と役割 (教科混合) * 中堅(高)と合同	
	信頼関係を築くコミュニケーション				

【特別支援学校】【特別支援学級】

第1回			第2回	
研修名	他機関との連携・児童生徒理解		研修名	キャリア教育
期日	7月8日		期日	9月11日
内容	教員生活2年目のスタートにあたって		内容	特別支援学校・学級におけるキャリア教育
	教育と家庭、医療、福祉との連携			障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向けて
	視覚・聴覚・肢体・病弱の各障がいの状態や特性等に応じた指導の実際と留意点			障がいのある児童生徒のキャリア教育の実際
	各障がいの状態や特性等に応じた指導の工夫			特別支援学校・学級におけるキャリア教育の進め方

令和6年度ステップアップ研修Ⅱ

【小学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回		
研修名	生徒指導と集団づくり ・教科指導1 (国語・理科・体育選択者)	生徒指導と集団づくり ・教科指導1 (社会・算数・外国語選択者)	研修名	教科指導2・目指す教師像 (国語・理科・体育選択者)	教科指導2・目指す教師像 (社会・算数・外国語選択者)
期 日	6月4日	6月7日	期 日	1月21日	1月23日
内 容	「人間関係づくりプログラム」の実践に向けて		内 容	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて (教科別分科会) * 中堅(小)と合同	
	人間関係づくりを踏まえた学級経営			私が目指す教師像－先輩教師の実践から学ぶ－	
	各教科における主体的・対話的で深い学び (教科別分科会)				

【中学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回		
研修名	生徒指導と集団づくり・教科指導1 (高・音)(高・美)(高・家)		研修名	教科指導2・目指す教師像	
期 日	6月18日		期 日	2月14日	
内 容	「人間関係づくりプログラム」の実践に向けて		内 容	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて (教科別分科会)	
	人間関係づくりを踏まえた学級経営			私が目指す教師像－先輩教師の実践から学ぶ－	
	各教科における主体的・対話的で深い学び (教科別分科会)				

【高等学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回		
研修名	生徒指導と集団づくり・教科指導1 (音・美・家は中学校に参加)		研修名	教科指導2・目指す教師像	
期 日	6月5日		期 日	2月7日	
内 容	「人間関係づくりプログラム」の実践に向けて		内 容	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて (教科別分科会)	
	人間関係づくりを踏まえた学級経営			私が目指す教師像－先輩教師の実践から学ぶ－	
	各教科における主体的・対話的で深い学び (教科別分科会)				

【特別支援学校】【特別支援学級】

第1回			第2回		
研修名	学習指導1 (A日程)	学習指導1 (B日程)	研修名	学習指導2 (A日程)	学習指導2 (B日程)
期 日	6月19日	6月21日	期 日	1月28日	1月29日
内 容	教員3年目のスタートにあたって		内 容	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業実践	
	特別支援学校・学級に求められる カリキュラム・マネジメントの在り方			自ら学び続ける教師を目指して ～この3年間で振り返って～	
	PDCAサイクルに基づいた教育課程の 実施と評価及び改善				
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善				
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想				

【様式 1】

令和6年度 ステップアップ研修（ ）に係る「校内研修」年間計画書

所属名 _____ 対象者名 _____

受講教科 _____ 担当学年 _____

校外研修	① 令和6年〇月〇日 (〇)
	② 令和 年〇月〇日 (〇)

【記入例】

回	研修期日	研修内容	指導者(職名等)	単位時間	
1	令和6年 4月〇日(〇)	ガイダンス (受講者の教育実践上の課題等を記入) ・学級のルールづくり ・ねらいを明確にした授業づくり	校長	1	
2	令和6年 5月〇日(〇)	指導案審議	指導教諭 教科主任	1	
3	令和6年 6月〇日(〇)	★研究授業 ・事後研含む	指導教諭 教科主任 学年主任	2	・学年部参加
4	令和6年 6月〇日(〇)	その他 ・ICTの効果的な活用	指導教諭 教科主任 学年主任	1	・初任者を含めた校内 チーム研修
5	令和6年 8月〇日(〇)	生徒指導	学年主任 生徒指導主任	2	・教育相談コーディネーター参加
〇	令和7年 2月〇日(〇)	成果と課題 ・1年間の振り返り	校長	1	
計				〇	

・研究授業は★印を付けて年間2回以上実施すること。
・小学校は、2回のうち1回は、必ず校外研修で受講する教科の研究授業を位置付けること。

注意

【様式 2】

令和6年度 ステップアップ研修（ ）に係る「校内研修」実施報告書

所属名 _____ 対象者名 _____

受講教科 _____ 担当学年 _____

校外研修	① 令和6年〇月〇日 (〇)
	② 令和 年〇月〇日 (〇)

【記入例】

回	研修期日	研修内容	指導者(職名等)	単位時間	
1	令和6年 4月〇日(〇)	ガイダンス ・学級のルールづくり ・ねらいを明確にした授業づくり	校長	1	
2	令和6年 5月〇日(〇)	指導案審議	指導教諭 教科主任	1	
3	令和6年 6月〇日(〇)	★研究授業 ・事後研含む	指導教諭 教科主任 学年主任	2	・学年部3名参加
4	令和6年 6月〇日(〇)	その他 ・ICTの効果的な活用について	指導教諭 教科主任 学年主任	1	・初任者を含めた 校内チーム研修
5	令和6年 8月〇日(〇)	生徒指導 ・児童生徒との信頼関係の構築	学年主任 生徒指導主任	2	・教育相談コーディネーター参加
〇	令和7年 2月〇日(〇)	振り返り(成果と課題) ・1年間の振り返り ・来年度に向けての課題を協議	校長	1	
計				〇	

・研究授業は★印を付けて年間2回以上実施すること。
・小学校は、2回のうち1回は、必ず校外研修で受講する教科の研究授業を位置付けること。

★研究授業

【ステップアップ研修（ ）を通しての成果と課題】（対象者）

【対象者のステップアップ研修（ ）全般を通しての所見】（校長）

注意